

2019年10月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

じぶん銀行 日本製造業PMI®

PMI、過去7ヶ月の最小値で第3四半期を締めくくる

主な動向

生産高が9月も減少、新規受注の継続的落ち込みが響く

輸出は中国、米国、欧州を中心に低迷

景気見通し、記録的低水準が続く

日本の製造業は第3四半期最終月も引き続き不調だった。企業は新規受注の持続的低迷を受け生産高を削減した。生産高の減少は前月よりも大幅で、新規受注と購買数量も加速的に減少した。また在庫も減少した。製品価格は売上増を図って引き下げられたが、世界的な貿易摩擦と国内の景気への懸念により今後の生産高見通しは低迷した。

プラス面としては、購買価格の伸びが過去3年弱で最小となり、雇用も継続的に増加した。

主要指数のじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI®) (製造業の業況を単一の数値で表す複合指標)は8月の49.3から下がって9月は48.9となった。これは2月以降の最小値である。全体として日本の製造業の業況が、小幅ながら前月を上回る勢いで悪化したことが示された。

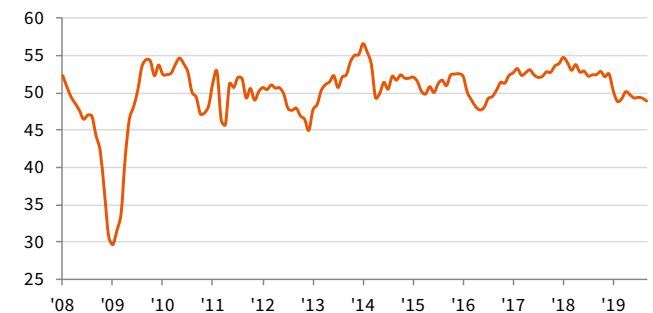
製造業の業況悪化の主な要因は生産高と新規受注であり、いずれも9月に加速的勢いで減少した。調査対象企業によれば、国内・海外市場の売上がともに減少し、基礎的需要状況が弱まった。

最新調査データによれば、新規輸出受注は10ヶ月連続で落ち込んだ。9月は日本の製造業の主要市場である中国、米国、欧州からの受注が減少したと報告された。売上の不振により生産高が9ヶ月連続で減少した。

2019年これまでの傾向に続き、日本の製造業は購買数量を9月も削減した。また購買数量とともに購買品在庫も減少し、勢いは過去8ヶ月で最大だった。完成品在庫も同じく減少し、しかも過去10年近くで最も大幅な勢いだった。調査対象企業は、消費税引上げ前の受注への対応にこれらの在庫を活用した。

(次頁に続く)

じぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典: じぶん銀行、IHS Markit、経産省

コメント

IHS Markitエコノミスト、Joe Hayesによる最新調査結果へのコメント

「主要指数PMIは2月以降の最小値を記録し、日本の製造業が第3四半期を低調に締めくくったことを示した。

業況の悪化は消費税増税に先立って加速的勢いで進み、特に製造業・輸出業が第3四半期GDPの伸びの引き下げ要因になっただろうと思われる。

日本は今回も引き続き貿易要因によるグローバルな成長鈍化のあおりを受けた。ハイテクおよび生産財分野を中心に新製品の発売が強気の見通しを多少生んだものの、貿易摩擦への懸念が続き、慎重な態度を支えた。

また今年これまでの円高で、世界的な貿易縮小の影響も緩和できない状況が続いている。このため第4四半期は消費税増税のインパクトをサービス業がどれだけ乗り切れるかが、年末までの景気にとって死活的に重要となる。」

一方、生産高予想指数(当調査唯一の景況感の指標)は今後12ヶ月の見通しが不調であることを示した。調査回答によれば、世界的な貿易摩擦と国内景気後退への不安が自信を引き下げた。

しかしそれに関わらず、日本の製造業は9月も引き続き雇用を増やした。今後の新製品発売で労働力の増強が必要なためである。ただし勢いは鈍り全体として小幅だった。雇用の伸びを妨げた要因は、新規受注の伸び悩みと従業員の定年退職だった。

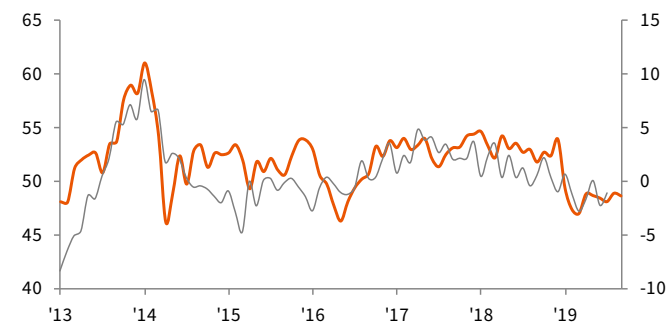
製造業の新規受注の減少はまた、受注残の消化を促すことにもなった。9月の受注残減少の勢いは大きく、8月を上回った。同様に、日本の製造業は購買活動の縮小を背景に、サプライヤー納期がほぼ横ばいだった。

最後に、購買コストの伸びの縮小が調査データで示された。勢いは過去3年弱で最も小幅となった。また製品価格も4ヶ月連続で下落した。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: じぶん銀行, IHS Markit, 経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

じぶん銀行
Grp-S-M-IT@jibunbank.co.jp

Joe Hayes
エコノミスト
IHS Markit
電話: +44 1491 461 006
joseph.hayes@ihsmarkit.com

Bernard Aw
プリンシパル・エコノミスト
IHS Markit
電話: +65 6922 4226
bernard.aw@ihsmarkit.com

Joanna Vickers
コーポレートコミュニケーション
IHS Markit
電話: +44 207 260 2234
joanna.vickers@ihsmarkit.com

調査方法

じぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2019年9月のデータ収集期間: 2019年9月12日~23日。

PMI調査方法の詳細は、electronics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

じぶん銀行について

2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開しております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、GoogleアシスタントやAmazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っています。

IHS Markitについて

IHS Markit (NYSE: INFO) は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2019 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、joanna.vickers@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI (購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI)®」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたけたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。